

まちびあ まちづくりシンポジウム × 宇都宮大学地域デザインセンター

# 誰もが安心して地域で暮らせるように 防災目線で多文化コミュニティを考える

外国人住民との関わり方  
がわからない

災害が起きたとき外国人と  
どう接すればいい？



2024年3月17日(日)  
13:30～16:00

宇都宮大学  
陽東キャンパス

## ① 基調講演

災害における外国人の脆弱性と可能性  
-留学生の防災意識調査と  
地域での防災まちあるきの実践-

講師・コーディネーター

宇都宮大学留学生・  
国際交流センター准教授  
**飯塚 明子 氏**



《プロフィール》  
京都大学大学院地球環境学舎、博士（地球環境学）  
取得。米国とオランダの留学やベトナム、スリラン  
カ、インドの海外駐在経験を経て、8年前から現職。  
専門は国内外の地域防災と国際交流。

## ② 栃木県内の多文化 コミュニティ事例紹介

- ・多文化系まちづくり団体  
「TABUWATA」
- ・清原地区国際交流会

## ③ 多文化防災 ワークショップ

東日本大震災で実際に起きた異文化  
トラブル事例をもとに、外国の人との  
コミュニケーションについてグループ  
で話し合います。

主催：宇都宮市まちづくりセンター

共催：宇都宮大学地域デザインセンター

**【基調講演】 災害における外国人の脆弱性と可能性-留学生の防災意識調査と地域での防災まちあるきの実践-**

**【パネリスト紹介】  
県内で活動する2団体紹介**



日本人学生や地域自治会も関わる「留学生と防災まちあるき」企画を宇都宮大学が2022年から開催。災害時に危険な場所や役に立つ場所を確認しながら、地域を歩き、解決策を考えるグループワークなどを実施。



**①TABUWATA**

誰もが暮らしやすい地域社会を目指して、コミュニティFMミヤラジでのミヤラジでの番組づくり、日本語で交流する「にほんごカフェ」などの実施を通して「〇〇さんと呼び合える関係」づくりを行っています。



**②清原地区国際交流会**

清原地区住民と地区に在住する外国の方々が、同じ清原の住民として住みやすい地域社会をつくるため、日本語教室や交流活動。やさしい日本語版の清原地区防災マニュアルといった刊行物の発行など支援活動をされています。

**会場：宇都宮大学陽東キャンパス（宇都宮市陽東7-1-2）  
11号館 1階 アクティブ・ラーニング教室**

**定員：50名 参加費：無料**

**対象：地域コミュニティ・多文化共生に関心がある方**

**問合せ：宇都宮市まちづくりセンター「まちぴあ」担当：小松**

**TEL：028-661-2778**

**FAX：028-689-2731**

**メール：info@u-machipia.org URL：https://u-machipia.org/**

**【申込方法】**

**①申込みフォーム または ②申込書をFAXまたはメール**

**URL:https://forms.gle/AJ9ab9k9rX9QzNn78**

Googleフォーム



**まちぴあ まちづくりシンポジウム FAX申込書**

**FAX 028-689-2731**

<b>氏名</b>	<b>所在地</b>	<b>市・町 村・区</b>
<b>所属</b>		
<b>連絡先 TEL</b>		<b>E-Mail</b>

※本申込書にご記入いただいた個人情報は、シンポジウムに関する連絡の目的のみに使用します。